

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

- 胃がんリスク層別化検査ABC分類 (依頼コード No.13414)
(ヘリコバクター・ピロリ抗体：ラテックス凝集比濁法)
(ペプシノゲンI,II : ラテックス凝集法)

受託開始日 2020年4月1日(水) 受付分より

本検査は、2019年12月に認定NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構より発行された「胃がんリスク層別化検診(ABC検診)胃がんを予知・予防し、診断・治療するために」の掲載内容に基づくものです。

胃がんリスク層別化検査(ABC検診)で測定しているヘリコバクター・ピロリ抗体(H.ピロリ抗体/EIA法)につきましては、現感染や既感染を含む陰性高値が問題とされており、その問題点を無視できるとして認定NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構で推奨されている試薬(ラテックス凝集比濁法)を使用する検査を新設いたしました。

裏面に続きます

株式会社 **第一岸本臨床検査センター**

札幌本社：〒007-0867 札幌市東区伏古七条三丁目5番10号 ☎(011)787-2111 FAX(011)787-2191

資料、お問い合わせは担当者または最寄りの営業所までお願いいたします。

受託要領

	新	ご参考：現行コード内容
依頼（報告） コード No.	13414（親）胃がんリスクABC/LA	12891：胃がんリスク層別ABC
	（子）22666 胃のABC分類	12893：同左
	—	12895：H.ピロリ抗体/EIA
	（子）22667 H.ピロリ判定	21991：同左
	（子）22668 H.ピロリ抗体濃度	21992：同左
	—	12896：ペプシノゲン/LA
	（子）22669 ペプシノゲン判定	21993：同左
	（子）22670 ペプシノゲンI	21994：同左
	（子）22671 ペプシノゲンII	21995：同左
	（子）22672 ペプシノゲンI/II比	21996：同左
E判定対応	13416 H.ピロリ除菌歴有	12897：同左
検査項目名	胃がんリスク層別化検査ABC分類	同左
統一コード	3B346-0000-023-062	3B346-0000-023-920
検体必要量	血清 0.5mL	血清 1.1mL
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2～3	3～4
検査方法	H.ピロリ抗体：ラテックス凝集比濁法 ペプシノゲン：ラテックス凝集法	H.ピロリ抗体：EIA法 ペプシノゲン：同左
陽性判定基準	H.ピロリ抗体：(+) 10.0U/mL以上 ペプシノゲン(PG)：(+) PGI値が70.0ng/mL 以下かつPGI/II比が3.0以下	H.ピロリ抗体：(+) 3.0U/mL以上 ペプシノゲン：同左
単位	H.ピロリ抗体濃度：U/mL ペプシノゲンI・II：ng/mL ペプシノゲンI/II比：なし	同左
報告範囲	H.ピロリ抗体：3.0未満～100.0以上 ペプシノゲン：PG I値 0.1以下～最終値 PG II値 0.1以下～最終値 PG I/II比 0.1～最終値	H.ピロリ抗体：3.0未満～100以上 ペプシノゲン：同左
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	未収載	同左
検査試薬名	H.ピロリ抗体：H.ピロリ-ラテックス「生研」 ペプシノゲンI：オートペプシノゲンI・BML-2G ペプシノゲンII：オートペプシノゲンII・BML-2G	H.ピロリ抗体：Eプレート「栄研」H.ピロリ抗体II ペプシノゲンI：同左 ペプシノゲンII：同左
試薬製造販売元	H.ピロリ抗体：デンカ生研株式会社 ペプシノゲン：株式会社ビー・エム・エル	H.ピロリ抗体：栄研化学株式会社 ペプシノゲン：同左

依頼上の注意点について

- 除菌歴のある方は、「依頼コードNo.13414：胃がんリスク層別化検査ABC分類」と「依頼コードNo.13416：H.ピロリ除菌歴有」の2つの依頼コードを同時にご依頼ください。測定結果とともに判定Eを報告いたします。
- 「依頼コードNo.13416：H.ピロリ除菌歴有」のみでの依頼はできません。

【検査方法の参考文献】

三木一正：胃がんリスク層別化検診(ABC検診)胃がんを予知・予防し、診断・治療するために 1～4, 2019.